

日本野球聖地・名所 150 選認定
すさききゅうじょうあと
江東区登録史跡 洲崎球場跡

洲崎球場はプロ野球の草創期^{そうそうき}である昭和 11 年（1936）に大東京軍（現横浜 DeNA ベイスターズ）の本拠地^{ほんきよち}として建設されました。同 13 年までのわずか 2 年間しか使用されませんでした。116 試合もの公式戦が開催されています。昭和 11 年には東京巨人軍（現読売ジャイアンツ）と大阪タイガース（現阪神タイガース）による初のプロ野球日本一決定戦（3 連戦）が行われ、東京巨人軍が優勝しました。文化財係では、平成 16 年（2004）に「洲崎球場跡」（江東区新砂^{しんすな}1 丁目 1・2 付近）を史跡として文化財登録をし、翌 17 年に跡地東に説明板を建てています。

今年、野球伝来 150 年を記念して、日本全国の野球にまつわる聖地・名所 150 カ所が選定され、当区からは「洲崎球場跡」が選ばれました。展示品はその認定証です。

